

第13回 スチュワードシップ・セミナー

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『政策保有株を考える』

【日時】2024年12月2日（月）午後3:30~5:00

ZOOM Webinar による開催（参加費無料）

（Webinar は野村総合研究所のご協力をいただいています）

参加を希望される方は下記 URL からお申込みください

https://cu-nri.zoom.us/webinar/register/WN_hTNMNfnDT-CYGHebBExuQw

日本企業における政策保有株式という課題は 2024 年現在改めて脚光があたり資本市場における注目を集めています。今回のスチュワードシップ研究会セミナーでは金融庁の新発田審議官にご登壇いただき、金融庁の取組みについてご講演をいただきます。政策保有株式はガバナンスおよび資本政策双方における深刻な課題という認識が広まり、その解消に向けた提言や取組みも活発化しています。この課題に対して長年真剣に取り組んできた方々をお招きして議論を行いたいと思います。

【事前質問や事例紹介を募集します】

新発田様、あるいはパネリストに対する事前質問、企業の取組みに関する課題・悩みなどの事例をご紹介いただける方は下記メールアドレスまでお願いします。お名前、社名等は秘匿します。

cross.shareholdings@gmail.com

【講師と演題】

■講演（3:30~4:00）「金融庁の取組み」

新発田龍史氏 金融庁企画市場局 審議官

■パネルディスカッション（4:00~5:00）

パネリスト：

古布 薫氏 インベスコ・アセット・マネジメント（株）
ヘッド・オブ・ESG

角田成宏氏 SOMPO アセットマネジメント（株） 責任投資部
リード・エンゲージメント・マネージャー

榎野 尚氏 Kaname Capital ヘッド・オブ・リサーチ

モデレーター：

三井千絵氏 野村総合研究所 上級研究員

【講師・パネリストのご紹介】

新発田龍史（しばた たつふみ）氏

1993年大蔵省入省。キャリアの大半を金融部局で過ごし、この間、金融庁において、組織戦略監理官（初代）、銀行第一課長、銀行第二課長、監督局参事官等を歴任。2023年7月より企画市場局参事官として企業開示、コーポレートガバナンス改革等を担当、本年7月より現職。1993年東京大学法学部卒業、1997年コロンビア大学国際公共政策大学院修了。

古布 薫（こぶ かおる）氏

1997年JPモルガン証券会社入社、2000年JPモルガン・アセットマネジメント株式会社へ転籍、日本株運用部門のアナリストとしてテクノロジー業界を担当。2014年インベスコ・アセット・マネジメント株式会社入社。日本株式運用部のリサーチ・アナリストとしてテクノロジー及び金融業界を担当すると同時に、ヘッド・オブ・ESGとして日本株式運用部のスチュワードシップ活動を統括及びグローバルとの連携を行う。

角田成宏（つのだ あきひろ）氏

1992年国際証券（現三菱UFJモルガンスタンレー証券）入社。企業調査部配属となり、エレクトロニクス業界を担当。1999年安田火災グローバル投信投資顧問（現SOMPOアセットマネジメント）入社。株式運用部配属となり、アナリストリーダーを経て、2017年からESG/エンゲージメント関連業務に従事。現在はリード・エンゲージメント・マネージャーとして、運用部によるスチュワードシップ活動の方針策定、管理、支援等を行う。

槇野 尚（まきの なお）氏

2012年東京大学法学部卒業後、モルガン・スタンレーMUFG証券にて株式調査を担当。14年からみさき投資にてエンゲージメント投資に携わった後、2022年米コロンビア大学経営大学院修了（MBA）。同年から現職。日本証券アナリスト協会 認定アナリスト（CMA）。論文に「創業家持分が多い企業のガバナンス」（みずほ証券資本市場アップデート）など。

三井千絵（みつい ちえ）氏

東京理科大学物理学修士。時事通信社を経て、2008年より野村総合研究所で研究員を務める。専門は企業開示情報、関連制度。2014年から2020年までIFRS財団の電子開示に関する諮問グループITCG、2021年よりCFA協会の企業開示指針委員会のメンバー。投資家・アナリストの為の効率的な開示に関して意見発信を行う。IFRS、ガバナンスコード、海外非財務情報開示の動向、サステナブル・ファイナンス等の研究を行っている。経済産業省非財務情報開示指針研究会委員

【お問合せ】

スチュワードシップ研究会の活動や当セミナーについてのご質問は下記のメールアドレスにお問い合わせいたします。 info@stewardship.or.jp